

# HAKUOH JHS NEWS

白鷗大学足利中学校新聞 -No.78-



発行所 / 白鷗大学足利中学校新聞委員会 足利市伊勢南町4-3 TEL.0284-42-1131

## 体育祭!! いざゆけ我らの白鷗魂

別組別演技  
最優秀賞  
黄組

黄組組長を務めて

黄組組長 長井 佑樹

私が組長を務めた黄組は、組別集団演技の最優秀賞を獲ることができました。しかし、私の組長としての力は微々たるもので、黄組を最優秀へ導いたのは組の一人一人であると感じました。体育

## 白鷗中体育祭 2014 10/4開催



総合優勝 緑組

さわやかな秋空の下、今年の白鷗大学足利中学校の体育祭が本校校庭で行われました。今年から赤・青・緑・黄の四組に縦割り編成された生徒が、三年生の組長・副組長を中心に一ヶ月以上かけて準備してきました。三年生がまた一回り大きく見えた体育祭でした。

祭当日まで組の統一感というものは感じられず、最初に掲げていた総合優勝と最優秀賞の二冠を獲ろうという意気込みだけが空回りしていました。下級生をリードする立場にある三年生からもその意気込みは感じられませんでした。しかし、体育祭当日は今まで考えられないほどのまとまりと士気にあふれ、総合優勝と

まではなりませんでしたが、見事組別集団演技で最優秀賞を受賞することができました。白鷗一、二年生の秘めた驚異的な団結力と個々の能力の高さに改めて驚かされました。残念ながら叶わなかった二冠の夢は、今回黄組のメンバーだった人に託したいと思えます。是非組長を務め、今回経験したこと

組長として

緑組組長 和久井 丈

私は今年の体育祭で緑組組長となりました。最初の組の集まりでは人数の多さと元気の良さに驚きました。しかし、組のみんながこんなに元気なら、この組は総合優勝できるかもしれないと思いました。初めの頃の組別練習では、まとまりがなく組をまとめることはとても大変でしたが、反面やりがいもありました。そして体育祭が近づくと、組が一つになっていくことを感じました。体育祭本番では、組のメンバー全員が一生懸命頑張ってくれたと思います。競技の中で特に印象に残ったのは組別対抗リレーです。この競技で勝敗が決まる大事なものであったのでとても緊張しました。一人一人が頑張ったバトン最後一位でゴールへ運ぶことができてとてもうれしく思いました。そして『総合優勝』という結果で私はこの組の組長を務められたことを誇りに思います。

を生かして組の能力をうまく引き出すことで二冠を達成してほしいと思います。

また、僕は一年生の後期から二年間、生徒会本部役員として生徒会活動に務めてきました。生徒会では、各行事の実行委員として行事の企画・運営に携わったり、口と足で描く芸術家協会などのボランティア活動への協

僕が、このような経験から学んだ多くのことは、自分の将来に大いに生きていくと思います。残りわずかで、僕の中学校生活も終わりを迎えています。ですが、貴重な経験から学んだ多くのことを、自分の糧にしていきたいと思えます。



この体育祭は私の忘れられない思い出として一生心に残るでしょう。

中二の体育祭・二年間の生徒会

高島 海斗

僕は、今年度の体育祭で、実行委員会の副委員長を務めました。今まで実行委員会には数多く携わってきましたが、正副実行委員長を務めたことがなかったため、なかなか自分から率先して指示を出すことができませんでした。

### 中高一貫交流会「ビブリオバトル」

10月25日の3、4限に、中高一貫教育コースの交流会を行いました。今回はビブリオバトル【知的書評合戦】で、お気に入りの本を制限時間の中で紹介し、発表後に「どの本が一番読みたくなったか?」を基準にして最優秀者を参加者全員の投票で選び、各学年から一冊ずつ「チャンプ本」を決定するものです。これは、読解力を高めるとともに、表現力や発表力を育成することを目的としています。それぞれ趣向を凝らし、良い発表が発表されました。なお、今回のチャンプ本は、次のようになりました。

- 3年の部 「告白」(湊かなえ 著作) 堀 碧泉  
「ルーズベルト・ゲーム」(池井戸潤 著作) 田島 秀星
- 2年の部 「浜村渚の計算ノート」(青柳碧人 著作) 増尾 宇紘
- 1年の部 「空想科学読本」(柳田理科雄 著作) 對比地 聖

### 体育DAY

バドミントンと卓球で熱戦

例年より早く、二学期が始まって間もない9月3日、足利市民体育館を会場に体育デーが開催されました。結果は次の通りです。

- バドミントン男子  
優勝 天竺・藤川組 (3-3)  
準優勝 表・金谷組 (3-2)
- バドミントン女子  
優勝 藤井・早川組 (3-3)  
準優勝 石内・一瀬組 (2-2)
- 卓球男子  
優勝 松本 (2-2)  
準優勝 鯨坂 (2-3)
- 卓球女子  
優勝 長塩 (3-2)  
準優勝 奥 (3-2)



### 白鷗大学足利中学校 入学試験のご案内

	試験日	願書受付期間
第2回 一般入試	平成27年 1月24日(土)	1月19日(月)~1月21日(水)

☎ 0284-42-1131 メールアドレス info-jh@hakuoh.ed.jp

# 林間学校

志賀高原

7/30~8/1

## キャンプファイヤー 実行委員長になって

藤井ひかり

今年のキャンプファイヤー実行委員は例年に比べて人数が多い方で、そのおかげで盛り上がるための工夫を多くすることができました。私は実行委員長になって他学年の人とたくさん話す機会ができました。今までに話したことがなかった人とも話すことができ、

思っていたよりも元気が良すぎる人がいることがわかりました。当日のキャンプファイヤーはすごく盛り上がり、私が「楽しかった?」と聞くと、「楽しかった」と答えてくれる人が多くて本当にうれしかったです。私を支えてくれた先



室内レクの様子

## ウォークラリー 笑顔が見えた!

阿部将大

二年前にウォークラリー実行委員を経験していたので、それを思い出しながら企画を進めました。委員会では個人と委員会どちらからも笑って



ウォークラリー 池巡りコースにて

生方、後輩、友達、すべての人に感謝でいっぱいです。実行委員長になって本当によかったです。ありがとうございます。

もらえる様に思い出に残る様な企画にしようと思えました。先生方の時間感覚に頼りつつ進めたこと、そして実行委員の「良いゲームにしよう」という頑張りもあって、当日は順調に進みました。実際良かったことは、晴天のおかげで坂道のぬかみが軽減されたこと、そして笑っている人を何人も何十人も見ることができたことです。

実行委員長として中学時代最後のウォークラリー。振り返ってみると委員のみんなに迷惑をかけたと反省しなければなりません。ウォークラリーを楽しんでくださった皆さん、ありがとうございました。車に

## 中学生の「税」についての作文 栃木県議会議員賞受賞

日本の好きなところ

三年 森松 千晴

私は、私の住むこの日本が大好きです。どんなところが好きかというと、町がきれいで安心して生活できることです。例えば、ゴミは定期的に回収されるので、町全体が清潔です。道路や信号機がいつでも管理・補修されているので便利です。

公共の建物や施設も管理されているので、冷暖房が整っていたり、掃除も行き届いていたりするので、きれいで住みやすいです。警察の機能が維持されているので、普通に生活していて恐怖を感じることがありません。

救急車も呼んだり、病院に通ったりできます。そして私たち日本人は、そんな環境の中で安心して住めるので、親切で穏やかだと思います。車に乗っている時、救急車が通るとほとんどの車が端に寄って救急車に道を譲ります。教習所で習うルールをみんなが守っているのは、心にゆとりがあるからだと思います。

災害が起こった後の生活でも、みんなが落ち着いて冷静に行動できるのはある程度の安全や安心が保障されているからだと思います。

これらの安全や安心はほとんどが税金のおかげで成り立っていることに、私たちは普段気づきません。外国では、ゴミが回収されずに町中がゴミだらけの国があります。道路が整備されていない国もたくさんあります。救急車を呼ぶのにもお金がかかる国やお金がないと診察さえしてもらえない国も多いようです。治安が悪くて安心して生活できないせいで、人々の気持ち荒れているように感じます。

# 奏でよ! 心のハーモニー

合唱祭11月14日開催

各クラスとも毎日、朝と放課後の練習に励んで迎えたこの日。少し緊張した面持ちで体育館に集合、音楽系の司会で白鷗大学足利中学校の今年の合唱祭が幕を開けました。全員で校歌を斉唱した後、各クラスの合唱です。ステージに上がる前のパフォーマンスと良い、合唱の完成度と良い、三年生が貫禄を見せてくれました。また、審査の間には、一年生の長谷川寧々さんが素晴らしいチェロの演奏を披露してくれました。



した。審査の結果は次の通りです。ご来場いただいた保護者、ご家族のみなさんありがとうございました。

### 課題曲

- 3年 「旅立ちのとき ~Asian Dream Song~」
- 2年 「心の瞳」
- 1年 「Let's Search for Tomorrow」

### 自由曲

- 3年1・3組 「チェリー」
- 3年2組 「楓」
- 2年1・3組 「遙か」
- 2年2組 「空も飛べるはず」
- 1年1・3組 「ふるさと」
- 1年2組 「RPG」

## 審査結果

- 最優秀賞 三年二組
- 優秀賞 三年一・三組
- 最優秀指揮者賞 谷口芽衣 (三一三)
- 最優秀伴奏者賞 笠松もえ (三一二)



## The best life in America

3年 小山 佳紀

私は足利市中学生訪米団の一員として九月二十日から三十日まで、アメリカスプリングフィールド市を訪問しました。今回の訪米は、日本では味わうことのできないとても思い出が詰まった楽しい十日間でした。

ホームステイの対面式、ホストファミリーは嬉しそうに迎えてくれたので、自然と自分もう

れしくなっているのに気づきました。早速、家族の一員として受け入れてくれた気がしました。

私は、ROCHESTER HIGH SCHOOLという学校に四日間通学しました。授業では英語で話しているということ、高校の内容を勉強しているということもあり、授業の内容を理解することは困難でしたが、私はそれよりも生徒がコンピューターを使っていることに驚きました。先生は全くホワイトボードを使わず、コンピューターを使って説明をしていました。ま

が長く維持される方法を考えることが大切だと感じました。

## 人馬一体ならず

三年 中島 萌南

私は十月二十五・二十六日に静岡県御殿場市で開かれた障害馬術競技会 (Fuji Horse Show Final Grand Prix) に出場しました。新しい馬で出馬した二回目の試合でした。馬は、七歳でまだまだ遊びたい盛り。私の指示など完全無視でやりたい放題。練習をするための馬場では、跳ねたりけったり大変でした。最終的には、他の乗馬クラブの人達に「あの馬は危ないから近づくな」といわれる始末...

メイン馬場でも、あっちへふらふら、こっちへふらふら。しかし、障害(二本の支柱にバーが掛っているもの)に向かう勢いはずごく、ほとん



また若く調教が済んでいないので大変ですが、毎回私たちにドラマを与え、楽しませてくれる良い馬です。人馬一体を目指してこれからも頑張ります。



たアメリカンフットボールなど、当地ならではのスポーツを経験できました。私は今回の訪米で多くのことを経験できました。今回学んだことを忘れずに、日々邁進していきたいです。